

TH113 取扱説明書

TH113-z-2604

お買い上げありがとうございます。
ご使用前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱い
下さいますようお願い申し上げます。
本取扱説明書はお手元に保管して下さい。

- 印刷による制限のため、本取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。
- 本製品によって生じた、いかなる支出・損益・その他の損失に対して何ら責任を負いません。
- 本取扱説明書を製造者の許可なく変更・複製することを禁じます。

製品仕様 (改良のため予告なく変更する場合があります。)

- 使用温度範囲: -9.9℃～+60℃ / 風速 0.3～3.0m/s ※結露なきこと
(外観 / 機能に支障無く、連続使用可能な温度範囲)
- 保存環境: -20℃～70℃ / 15%～95% ※結露なきこと
- 使用電池: 単4形アルカリ乾電池 (LR03 1.5V) 2個
- 電池寿命: 約8ヵ月 (単4形アルカリ乾電池2個を使用し、1日に7時間、警報アラームを2回使用した場合)
- W B G T: 精度: ±2℃
表示範囲: 0.0℃～+50.0℃
※0.0℃未満の場合は「0.0℃」が点滅し、50.0℃を超える場合は「50.0℃」が点滅します。
※温度が表示範囲外になると WBGT 値と湿度は「-」を表示
※JIS B 7922 クラス 2 に準拠
- 温度計: 精度: ±0.6℃ (20.0℃～50.0℃の範囲) ±1.0℃ (左記以外)
表示範囲: -9.9℃～60.0℃
※-9.9℃より低いと「-9.9℃」が点滅
+60.0℃より高いと「60.0℃」が点滅
※温度が表示範囲外になると WBGT 値と湿度は「-」を表示
- 湿度計: 精度: ±5%RH (30.0～90.0%の範囲) ±10%RH (左記以外)
表示範囲: 10.0～99.9%RH
※10.0%RHより低いと「10%」が点滅
99.9%RHより高いと「99.9%」が点滅
※温度が表示範囲外になると WBGT 値と湿度は「-」を表示
- 黒球温度: 精度: ±1℃
範囲: 0.0℃～+60℃ (表示なし)
- 測定間隔: 約30秒
- 付属品: 巻き付け用バンド (ロング)、吊り下げ用バンド (ショート)
収納袋、カラビナ

※付属のカラビナは、本機を吊り下げるための簡易的なものです。登山や牽引、人命に関わる用途には使用しないで下さい。

WBGT とは (Wet Bulb Globe Temperature)

酷暑の環境下での行動に伴うリスクの度合いを判断するのに用いられる指標であり、暑さ指数とも言われています。気温・湿度だけでなく、日射や照り返しなどの「輻射熱(ふくしゃねつ)」を黒球温度計で計測し、WBGTを算出します。※計算式は屋外と屋内で異なります。

屋外(日射あり): $0.7 \times \text{湿球温度} + 0.2 \times \text{黒球温度} + 0.1 \times \text{気温}$

屋内(日射なし): $0.7 \times \text{湿球温度} + 0.3 \times \text{黒球温度}$

※本製品はIN/OUTボタンを押して屋内モード/屋外モードを設定することで計算式を切り替えることができ、環境に合ったWBGTを知ることができます。

液晶表示について

●液晶表示は角度により見えにくくなります。●温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなることがあります。●0℃～+40℃の温度範囲を超えると、液晶表示が見えにくくなることがあります。●液晶表示は5年を過ぎるとコントラストが低下して、表示が見えにくくなることがあります。●液晶表示が部分的に黒くなる場合がありますが、静電気による一時的な現象です。しばらくそのままにしておくと、元に戻ります。

電池の交換について

電池容量が少なくなると、電池交換お知らせ表示が <電池交換お知らせ表示>

点滅します。このような場合は、速やかに同じ種類の新しい電池に2個同時に交換して下さい。

※買い置きの電池を使用した場合、乾電池に示されている「使用推奨期限」や保管状態により電池寿命が短くなることがあります。

リセット操作について

電池フタを開けて単4形乾電池2個を電池ホルダから外し、リセットして下さい。電池を電池ホルダから外した直後は、静電気や内部に残っている電流により誤動作(誤表示)する場合がありますため、液晶表示に何も表示されていないことを確認してから再度電池を入れて下さい。

WBGT・温度湿度表示機能について

本製品は工業用(業務用)計測機器として使用する目的で製造されたものではありません。WBGT・温度湿度表示機能は、センサーが本体内部に設置されているため、表示が安定するまでに時間がかかる場合があります。※使用温度範囲を超えた場合、故障の原因になりますので、ご注意下さい。

測定時の注意

- 地面に直接本体を置いたり、地面の近くに設置した場合は正しく測定できません。三脚やバンド等を使用して、地面から0.5～1.5m程離れた位置に設置して下さい。
- 必ず黒球が本体の上側に位置するようにして使用して下さい。本体を横にしたり逆さまにしたりして使用しないで下さい。
- 本製品は風速0.3m/s以下の、風がない状態では正確に測定できない可能性があります。風通しの良い場所に設置して使用して下さい。
- 屋外での使用時は黒球全体に直射日光が当たるようにして下さい。障害物や衣類で直射日光が遮られると、正確な測定ができません。
- 急激な温度変化があると正確な測定ができない恐れがあります。しばらく時間を置いてから測定を行って下さい。
- 測定場所に応じて「屋内 / 屋外」ボタンでモードを切り替えてご使用下さい。
- 屋外モードでは輻射熱の影響を考慮した値の表示となり、屋内モードと値の表示が異なります。屋内や輻射熱の影響が少ない日陰などでは屋内モードに設定して下さい。
※屋外モード: 輻射熱(日差しなど)を考慮した値を表示します。
※屋内モード: 屋内や、日陰など輻射熱の影響が少ない場所で使用します。
- 本製品を素肌や薄手の服の上から身に着けると、体温の影響を受けることがあります。身に着ける場合は、付属のバンドやカラビナを使用して下さい。
- 黒球や通気口付近に手が触れた状態で使用しないで下さい。手の温度の影響で正しく測定できません。

故障かな?と思ったときには…

※製品が正常に作動していないときは修理を依頼する前に下記を参考にお確かめ下さい。

液晶表示がつかない

考えられる原因	処置
電源がOFFになっている	電源ボタンを3秒以上押して、電源をONにして下さい。
電池が入っていない	電池の⊕⊖の向きを確かめて、同じ種類の新しい電池2個を入れて下さい。
電池容量が無い	
電池が正しい向きで入っていない	
電池端子の接触不良	端子の表面をふいて電池を入れ直して下さい。

表示が薄くなるまたは消えてしまう

考えられる原因	処置
電池容量が少ない	同じ種類の新しい電池に2個同時に交換して下さい。

警報ランプが暗いまたは点かない

考えられる原因	処置
電池容量が無い	電池の⊕⊖の向きを確かめて、同じ種類の新しい電池2個を入れて下さい。
電池容量が少ない	
電池が正しい向きで入っていない	
電池端子の接触不良	端子の表面をふいて電池を入れ直して下さい。

警報アラームが鳴らない

考えられる原因	処置
電池容量が無い	電池の⊕⊖の向きを確かめて、同じ種類の新しい電池2個を入れて下さい。
電池容量が少ない	
音量の設定が「消音」になっている	音量切替ボタンを押して、音量を「大」か「小」にして下さい。

警報アラームが小さい

考えられる原因	処置
電池容量が少ない	電池の⊕⊖の向きを確かめて、同じ種類の新しい電池に2個同時に交換して下さい。
音量の設定が「小」になっている	音量切替ボタンを押して、音量を「大」にして下さい。

ご愛用者様アンケートご協力のお願い

ノア精密の商品をお求め頂き誠にありがとうございます。今後のより良い製品開発・サービス提供に向け、ノア精密ではアンケートを実施しております。ぜひご回答下さい。



<アンケート回答方法>

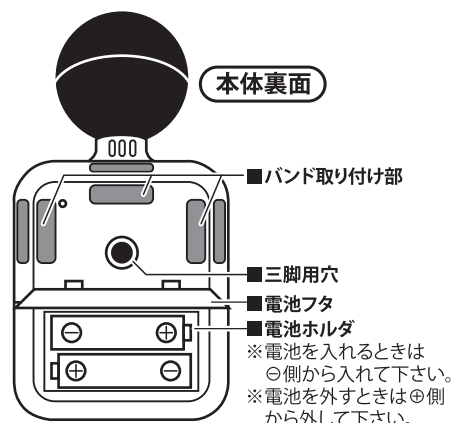
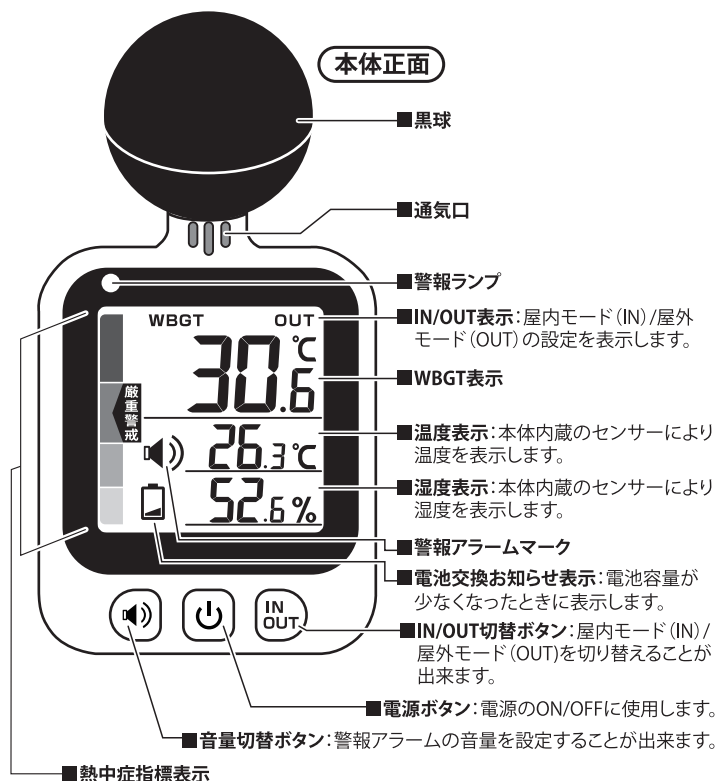
QRコードからアンケートフォームへアクセスして下さい。

また、下記URLからもアクセスが可能です。

●<https://forms.gle/ZQKtPnWageQpotVP6>

※アンケート締切:2026年9月30日まで

※ご回答いただきましたお客様にはプレゼントもご用意しております。



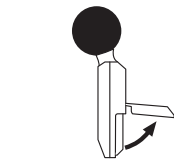
△注意 種類の違う電池、古い電池と新しい電池などを混ぜて使用しないで下さい。電池の破裂や故障の原因になります。

電池フタの開け方

①矢印の方向に電池フタをスライドして下さい。



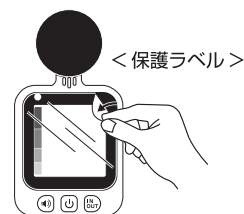
②電池フタを手前に引いて開けて下さい。



①保護ラベルを剥がして下さい。

※保護ラベルを剥がす際に、液晶表示が部分的に黒くなる場合がありますが、静電気による一時的な現象です。しばらくそのままにしておくと、元に戻ります。

※上手く剥がれない場合は、セロテープ等を使用するときれいに剥がす事が出来ます。



②電池を入れて下さい。

電池フタを開けて単4形乾電池2個を⊕⊖の表示に合わせて入れ、電池フタを閉じて下さい。

→「ピッ」となった後液晶が表示され、WBGT/温度/湿度を表示します。

③屋内 (IN) または屋外 (OUT) モードを設定して下さい。

IN/OUT切替ボタンを押して、ご使用環境に合わせて設定して下さい。

※電池を入れた直後の初期状態では、「屋外モード (OUT)」に設定されています。

④警報アラームの音量を設定して下さい。

音量切替ボタンを押して、ご使用環境に合わせて警報アラームの音量を設定して下さい。

※電池を入れた直後の初期状態では、音量は「大」に設定されています。

⑤使用する場所に設置して下さい。

付属のバンドやカラビナでベルトなどに取り付けるか、三脚などを使用して設置して下さい。

＜カラビナ＞	＜バンド＞	＜三脚＞

⑥使用後は電源をOFFにして下さい。

電源ボタンを3秒以上押すと電源がOFFになり、液晶表示が消灯します。再度電源をONにする場合は、電源ボタンを3秒以上押して下さい。

屋内 (IN) モード/屋外 (OUT) モード切替機能について

IN/OUT切替ボタンを押すと、屋外 (OUT) モードと、屋内 (IN) モードを切り替える事が出来ます。使用する環境に合わせて屋外 (OUT) / 屋内 (IN) を切り替えてご使用下さい。

屋内 (IN) : 屋内または太陽の出ていない屋外

屋外 (OUT) : 太陽の出ている屋外

警報アラーム音量切替機能について

音量切替ボタンを押すと、警報アラームの音量を切り替える事が出来ます。

(警報アラームマーク) 音量大: 音量小: 消音: マーク消灯

※消音設定時にWBGTが既定の数値を超えた場合は、熱中症指標表示が点滅します。

※警報アラームと警報ランプが発音/点滅中にいずれかのボタンを押すとアラームとランプは停止します。停止した後も同じWBGT環境にいる場合は、約10分後に再度お知らせします。

熱中症指標表示と警報アラームについて

日本生気象学会の熱中症指針をもとに、温度と湿度の数値から、熱中症指標 (WBGT) を下記のように4段階で表示し、熱中症指標表示の状態に合わせて警報アラームと警報ランプでお知らせします。

温度基準 (WBGT)	注意すべき生活活動の目安	注意事項	お知らせ内容 ※同じWBGT環境にいる場合は、約10分後に再度お知らせします。	
危険 31℃以上	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が大きい。外出はなるべく避け涼しい室内に移動する。	音量大: 音量小:	警報アラームがピーツ、ピーツと約60秒間鳴り続け、音に合わせて警報ランプが点滅します。
嚴重警戒 28℃以上 31℃未満		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。	消音: マーク消灯	熱中症指標表示「危険」が点滅します。
警戒 25℃以上 28℃未満	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に充分に休息を取り入れる。	音量大: 音量小:	警報アラームがピピッ、ピピッと約60秒間鳴り続け、音に合わせて警報ランプが点滅します。
注意 25℃未満			消音: マーク消灯	熱中症指標表示「警戒」が点滅します。
注意 25℃未満	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。	音量大: 音量小:	警報アラームがピッ、ピッと鳴り、音に合わせて警報ランプが点滅します。
			消音: マーク消灯	熱中症指標表示「注意」が点滅します。

日本生気象学会の熱中症指針をもとに、温度と湿度の数値から、熱中症指標を4段階で表示します。